

従来の「人生のステージ」の考え方が、今、大きな変化を迎えています。「教育を受ける期間」から「仕事をする期間」、そして「引退後の余生」という単線的なライフステージから、自分や社会の状況・ニーズに合わせて、学びも仕事も趣味も、柔軟に取り組めるマルチステージの人生へ。同じく、日本の高度成長を支えてきた社会システムもまた、大変革に直面しています。変わりゆく社会と人生の関係性を学んで、これからの「じぶん」と「まち」の関わり方を一緒に考えてみませんか？

マルチステージの人生へ

柔軟に取り組める

学びも仕事も趣味も、

# 地域共生社会× 人生100年時代

をどう生き抜くか  
考えるシンポジウム  
in えべつ

参加費  
—  
無料

日時場所

2020年

1/19

13:00-16:00 (12:30受付開始)

江別市コミュニティーセンター

〒067-0013 江別市3条5丁目11-1 / JR江別駅から徒歩2分

# プログラム

## 【基調講演1】13:05-13:55(50分)

### 人生は夕方から楽しくなる

～これからの社会の変化とワーク・ライフ～



講演者

野沢和弘氏

一般社団法人スローコミュニケーション代表/  
元毎日新聞論説委員)

1983年毎日新聞社入社。津支局、中部報道局(名古屋)、東京社会部、夕刊編集部長等を歴任。社会部ではいじめ、ひきこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などを担当。論説委員を11年務め、2019年10月に退社したばかり。現在はスローコミュニケーション代表、植草学園大学客員教授を務めながら、講演活動等により会社員時代に輪をかけて全国を飛び回っている。

## 【基調講演2】14:05-14:40(35分)

### 地域共生社会と『じぶん』

～全国の事例から学ぶ～

講演者

野崎伸一氏

厚生労働省大臣官房総務課広報室長  
(併)社会・援護局地域共生社会推進室 参与

東京都出身。1999年厚生省入省。児童家庭局、米国学、医政局、障害保健福祉部、外務省出向、健康局などを歴任し、2016年社会保障担当参事官室政策企画官室長補佐、2018年に生活困窮者自立支援室長を務め、2019年7月より現職。「地域共生社会」のコンセプトづくりや政策立案に関する省内の総括の傍ら、全国に足を運び、地域づくりの実践に学ぶ日々を送る。2児の父。

## 【説明】14:40-14:50(10分)

テーマ:

「江別版『生涯活躍のまち』構想の推進について」

岡本収司氏

社会福祉法人日本介護事業団 生涯活躍のまち担当部長

## 【座談会】15:00-16:00(60分)

「これからの『学ぶ』『働く』を  
みんなで考えてみる。」

コメンテーター

野沢和弘氏、野崎伸一氏

コーディネーター

大原裕介氏

(社会福祉法人ゆうゆう理事長)

実際に

北海道で「学び直し  
中」の方や、自分に合った  
「働く」や「活動する」を見つけ  
て人生を謳歌している方々をお  
招きしてお話しを伺い、これからの  
人生の展望と地域での活  
躍の可能性や意義を考  
えます!

### 会場周辺マップ



### 江別市コミュニティセンター

〒067-0013 江別市3条5丁目11-1 (JR江別駅から徒歩2分)

●申込方法:下記いずれかの方法でお申込みください。 ※席数に限りがございますので、早めの申込をおすすめします。

### メール

下記申込書の項目内容を、メールに記載してください。  
記載事項:①氏名(ふりがなつき) ②年齢 ③お住まいの市町村 ④連絡先(メールアドレスまたは電話) ⑤参加人数

kojo@yu-yu.or.jp

(社会福祉法人ゆうゆう 事務局 担当:古城)

### 電話

0133-22-2896

(社会福祉法人ゆうゆう)

## WEB申込フォーム

告知ページ

(<https://forms.gle/NQKfkcGJn8f4kNfX7>) に

アクセスして、申込フォームからお申込みください。



### FAX

下記項目にご記入後、  
右記の番号にFAXをしてください

送信先FAX番号

# 0133-23-0811

ふりがな		年齢	お住まいの市町村	
氏名			参加人数	名
連絡先	※メールアドレスまたは電話			